



しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

第22号

発行日：平成24年10月

〒722-8503
尾道市新高山3丁目1170-177
TEL：0848-47-1155
FAX：0848-47-1004
<http://www.onomichi-hospital.jp/>

院内
広報誌

第
22
号

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

副院長兼看護部長 山田 佐登美

今年4月に地方公営企業法全部適用に移行し、約半年が過ぎました。尾道市立市民病院と公立みつぎ総合病院、尾道市立市民病院附属瀬戸田診療所を「尾道市立総合医療センター」として、より連携を深めながら「人にやさしい医療」を目指しています。この「人」ということばは、まず「患者さん」であり、「地域の人たち」であり、そして「病院で働く人たち」です。こうした理念を掲げ、知恵をしばりながら「善い医療」を描き、実施しようと努めているところでございます。この度のごあいさつでは、看護職員やコメディカルの活動について少しばかりご紹介したいと思います。

チーム医療と言われて久しいですが、病態の複雑化や慢性化、日進月歩の医療技術、機能分化と連携の促進といった医療制度の変化、個々人のニーズの多様化等、ますます多職種或いは多領域連携が重要となってきました。善い医療には、優れた医師の存在は当然なことながら、スキルの高い看護職やコメディカルの存在と患者さんやご家族も含めたチームワーク、更に診療科や医療機関の壁を越えた連携力が求められます。当院では、現在認定看護師が6領域（緩和ケア、皮膚排泄ケア、感染管理、集中ケア、糖尿病看護、救急看護）7名、緩和薬物療法認定薬剤師、感染制御認定

薬剤師、NST専門薬剤師、放射線治療専門放射線技師等、資格をもった（質を保証された）コメディカルが増えています。そして彼らがチーム医療の推進役となっています。緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、感染制御チーム、糖尿病チーム、呼吸ケアチーム、血管診療チーム、口腔ケアチーム等でその専門性を発揮しています。複数のチームが患者さんの状況に応じて連携することも多々あります。

在宅ケアにおきましても、緩和ケアチームや血管診療チーム、糖尿病チームが地域連携室と共に退院後の療養生活支援を積極的に行うようにしています。複雑な病態やニーズをもった患者さん等については、在宅主治医の先生方や調剤薬局や訪問看護ステーションの皆さまやケアマネジャーの方々と退院後も継続的に関わっています。また、各病棟等には、「在宅支援看護師」を配置し、より迅速に細やかな連携ができるような体制を創りつつあります。

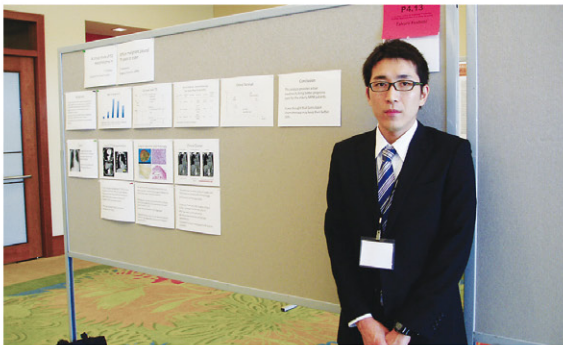
いずれも発展途上ですので今後もスキルアップしながら看護職やコメディカルも医療職の一人として地域医療に貢献していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

初めての国際学会に参加して



外科
伏見 卓郎 医師

2012年9月11日～14日にアメリカ東海岸のボストンで開かれていたiMig (11th International Mesothelioma Interest Group)に参加しました。iMigとは、悪性胸膜中皮腫を中心とした中皮腫 (Mesothelioma)の国際学会です。アスベスト暴露に関連して発症する疾患であり、造船業の盛んであった尾三因地域は、比較的中皮腫の症例が集まります。しかしこれは地域的なものであり、疾患自体はかなり稀です。稀な疾患であるため、国際学会といってもかなりごんまりとした雰囲気があります。この領域での世界のtop runnerたちとの距離感が近く、すごく身近に感じられました。また期間中はすべてのテーマが中皮腫に関するものであり、今この分野で何がhotなのか、top runnerたちが何に関心があるのか。そこを知り得ることができました。大変興味深かったです。



発表ポスター前で

私の発表形式はポスターでした。ポスターとは、自分のスライドの前で座長や聴衆に発表し、質問があれば答えるのが基本ですが、どのような形式で進めるかは座長に一任されていました。私のセッションの座長はかなりくだけた進行で進め、まったく学会という堅苦しさはなく、雑談の延長という感じでした。ここは国内学会との大きな違いと感じました。

初めての国際学会ということで、かなり緊張していました。しかし学術的には国内の学会と大きな違

いはないと感じました。必要なのは、英語と、少し多めの volume、そして外国人に負けない積極性。きちんとした仕事をしていれば十分に世界に通用し得る。そう感じました。

また同時に、自分に足りないものを痛感することも出来ました。医学的知識、統計学的知識、英語力、表現力、積極性、発想、経験、すべてが足りない。また、学生時代に感じていたあの憧れに似た気持ち、それは忙しさの中で忘れかけていたものですが、それを思い出させてくれました。今回は川真田先生に演題を選択していただきましたが、いつかは自分の力で発表できるようになりたいものです。



ハーバード大学創設者ジョンハーバードの銅像前にて



レッドソックス対ヤンキース戦 投手田沢 打者イチロー

そしてお楽しみの自由時間は、ボストン市内観光、ハーバード大学・マサチューセッツ総合病院 (MGH) 見学、ボストンレッドソックス観戦 (対ヤンキース、伝統の一戦)。アメリカの歴史ある街であるボストンの持つ深みを十分に堪能することができました。

普段経験することの出来ない貴重な体験ができました。しかし、基本は普段の日常診療にあることを実感しました。日頃から高みを目指して頑張っていきたいと思います。

国際学会を終えて



初期研修医2年目
小林 英之 医師

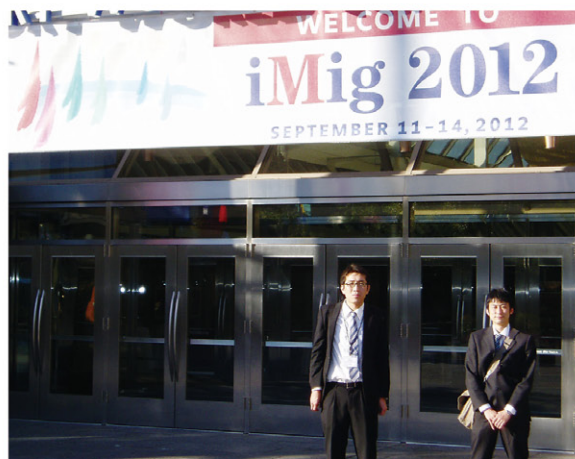
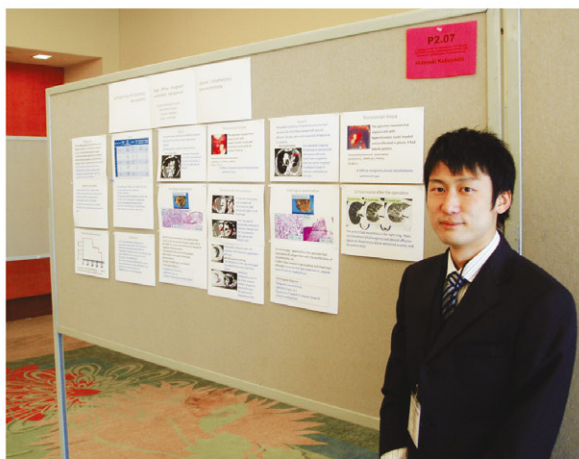
この度、2012年9月上旬、外科の川真田先生、伏見先生に同行しアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンにてIMIG学会に参加させていただき、拙いながら発表をしてきました。IMIG学会とは、中皮腫に関する研究、症例などについての学会です。中皮腫、特に悪性胸膜中皮腫は予後不良の疾患であり、治療法も確立されている状況ではありません。学会には昨年より準備し、日本呼吸器外科学会へ参加、発表し、それを踏まえたうえで更に改良を重ねた上で発表資料を作成し臨みました。学会発表の経験も少なく、さらには国際学会の発表も見たこともない状態での準備は、遅々として進みません。しかし、外科の諸先生方に助言、手直しを頂き、なんとか作りあげることができました。それでもやはり、準備不足なのではないかという漠然とした不安を抱えながらの出発となりました。

アメリカに到着し感じたことは、英語が思ったより理解出来ないということです。昨年より英語を少しずつ勉強してきたつもりですが、聞き取りが難しく、何を言わんとしているのかわからない

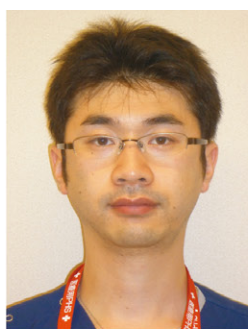
という状況が多々ありました。自分の英語力の低さを改めて痛感し、恥ずかしささえ覚えました。学会での進行や質問を聞き取れるのかという不安をさらに募らせながら会場に向かいました。自分の発表時間までになんとか話についていけるようにしようと、各演題を真剣に聞き取ろうとしましたが、そもそも、中皮腫に関する知識も乏しく、日本語で発表されても理解が難しかったらと思います。そんな状態で迎えた発表ですが、なんとか2分ほどの時間でうまく（発音が通じたかどうかは微妙ですが）プレゼンできたと思います。質問に対しては、事前に想定されていた質問は理解できましたが、予想してなかった質問の対処に窮し、結局川真田先生の助けを借りてしまいました。

今回、1週間の海外出張で、国際学会へ参加させていただき、非常に有意義な経験をさせていただきました。英語力の向上にも努めていく必要があると実感させられましたし、自分の知識の乏しさを痛感する良い機会であり、いずれ自分の専門を決め、勉強し、知識を深め再びあのような舞台で、議論を闘わせられるようになりたいと思いました。この経験を活かせるよう精進していきたい次第です。

ボストンは情緒ある良い街で、道中色々楽しむことができました。多くの人に協力を頂き、支えてもらい、このような貴重な機会を与えて頂いたことを本当に感謝します。



テルモメディカルプラネックスでの研修に参加して



外科
佐々木 洸太 医師

この度、5月12日・5月13日の二日間、神奈川県の特モメディカルプラネックスでシミュレーション研修をさせていただきました。同行いただいた先生たちの指導の下、シミュレーターを使った中心静脈カテーテルの挿入の実技や病棟での急変対応および救急外来での初期診療のシミュレーション、豚の皮膚・腸管を使った縫合・吻合の実技を研修しました。

中心静脈の挿入や皮膚の縫合、急変時の対応・心肺蘇生、救急での初期診療は実際の現場ではじめから適確かつ安全にトラブルなく行う事は難しいものです。また各個人がばらばらに練習したのでは間違った癖や大事なポイントがおざなりになってしまう可能性があります。今回の研修では統一した指導の下で、研修医同士がお互いの手技を見合いながら進めていき、終わったあとのフィードバックにも時間を割いていただくことで普段以上に充実した研修になったと思います。また、当院での研修の充実・修了技能の均点化にもつながり、とても魅力的な研修だと思います。

このような機会をいただけたことを心から感謝し、と同時にこの研修が第2回・第3回と会を重ねることにより充実したものになり、今後参加する研修医・研修生に多くの実りをもたらす事を期待しています。どうもありがとうございました。



初期研修医2年目
定平 卓也 医師

5月の新緑の中、テルモメディカルプラネックス研修に参加しました。

私が一番印象に残ったセッションは二日目のシミュレーターを用いた研修です。

シミュレーション実習は学生時代・初期研修医1年目に何度か経験したことがあり、また救急外来での診療の経験もあるので、なんとかなるだろうと思っていました。しかし実際にやってみると、想定とは異なる状況に陥りあせってしまいました。やはり普段の診療では、看護師などのメディカルスタッフに助けられていることを痛感しました。

このようなシミュレーターを用いた研修は、定期的に行っていくことが必要です。自分が動くときだけでなく、他人の対応を見ることも参考になると感じます。勉強したことを実践に活かす絶好の機会であり大変有意義な研修でありました。

このようなチャンスをいただきありがとうございました。





初夏を感じる5月、富士山を眺望できる神奈川県足柄上郡にあるこの施設での研修に看護部から8名が参加しました。今回、シミュレーションを通してフィジカルアセスメント能力の向上および教育における指導法を習得することを目的に2日間の研修を行いました。この研修について「深める」「癒し」という言葉でお伝えします。

1つ目に「深める」は、近年患者さまの健康問題を把握し適切で安全な看護を提供するために、フィジカルアセスメントが重要視されています。この研修ではフィジコ (Physiko) を使用して、フィジカルアセスメントを中心にした効果的な新人教育のあり方についてその手法を模索しました。指導者が一方的に伝えるのではなく、どのような導き方が効果的であるか、またどのようにして考えを引き出すか、など症例を通して考え意見交換を行いました。臨場感あふれる設備と場面設定の中で緊張感に包まれましたが、体験を通して多くの学びと、これまでの知識をより深めることができました。また、私たちが虜になった

看護師

竹本 和美	田中 香苗
藤田 晴美	半田 千恵子
青山 由美	山本 万恵
檀上 恵美子	平田 亜紀子

のがフィジコです。今回は呼吸音の聴診を中心に、「実際に五感を使い聴く、体験する」ことがより知識を深め技術の習得に繋がることを確信しました。現在、当院ではシミュレーター『フィジコ』を購入し、フィジカルアセスメント研修に活用しており、研修に参加した指導者と共に院内教育をさらに充実したものにしています。

2つ目に「癒し」ですが、豊かな自然に囲まれ研修設備が充実している施設での研修と、箱根湯本での箱根温泉、宿の庭園に見える景色に身体も心も癒され2日間の研修の活力になりました。

今回の研修で深めた知識と技術をスタッフ間で共有し看護の質の向上につなげていくことが私たちの使命です。そして患者さまに安全でより質の高い看護を提供できるよう努めて行きたいと思います。最後に、このような研修に参加する機会を与えていただいたことを感謝いたします。



新任医師・認定看護師の紹介・ごあいさつ



呼吸器内科
村上 斗司 医師

2012年6月より尾道市民病院呼吸器内科で勤務しております。2004年に香川大学医学部を卒業し、香川県立中央病院、岡山赤十字病院、岡山大学病院での勤務を行い、この度尾道市立市民病院に赴任いたしました。

まずこちらで初めに感じたことは、村上姓が非常に多いことです。患者様や看護師さん、検査技師さんなど、いたるところに村上さんがおられて、こんなのは初めての経験です。「村上さん」と声をかけるのに初期は違和感を覚えておりましたが、最近は大い慣れてきたような状況です。私は、島は島でも阿波踊りで有名な徳島県出身であり、この尾道に赴任させていただき、改めて村上水軍とは何ぞやと歴史を少し勉強したいと思っている次第です。

今回、呼吸器内科として6月にこちらに赴任させていただきましたが、7月に尾道の呼吸器内科の英雄である巻幡先生が、また8月に肺癌診療の歩く辞書である畝川先生が相次いでご退職されるという状況となっており、皆様には大変なご迷惑をおかけしていることと存じます。お二人の先生方の意思を継ぎ、この尾道の地で村上の姓を汚さぬよう、また市民の皆様のお役に少しでも立てるよう努力していきたいと存じますので、これからも宜しくお願い申し上げます。



主任看護師
江木 美峰 主任

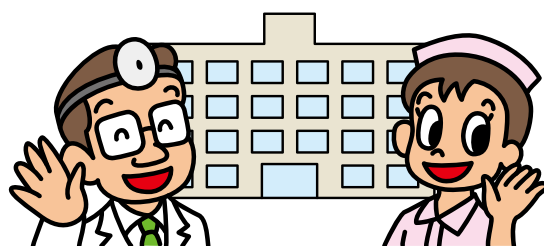
私は、この度救急看護認定看護師の資格を取得しました。

『救急看護とは病院の内外を問わずあらゆる場面で生じる患者への救急処置が必要となる状況において実践される看護活動』とされています。

時と場所を選ばず、年齢・疾患を問わず様々な患者さんと家族が対象となり、あらゆる緊急場面で行われるのが救急看護です。私達は限られた時間と、少ない情報からアセスメントを行い、緊急度・重症度の判断を行います。そして、全身状態の急激な変化に即応し、危機的状況下にある患者さん及び家族へ看護を行う必要があります。

尾道市立市民病院は二次救急病院ですが、広島県東部（尾道三原）の地域医療を支える中核病院として一次から三次までの救急患者の受入れを24時間行っています。

私は『搬送されて来てよかった。治療・看護を受けることができよかった。』と思っていただけに、最新の知識と熟練した技術の研鑽に努め、スタッフの方々と共に患者さん及び家族へより質の高い看護ケアが提供できるよう努めていきたいと思っています。



火災総合訓練を開催しました

今年度第1回目となる火災総合訓練が7月4日にありました。

今回は新館3階で夜間に火災が発生したとの想定で行いました。当直医師・ICU当直医師・各病棟看護師など総勢50名が消火班や患者役として参加しました。参加者の皆さんの、訓練とはいえ真剣に臨んだ姿勢と日頃のイメージトレーニングの成果で、大きな混乱もなく終了できました。

防災に対する意識の構築やその対策を確認するうえで、大変有意義な訓練になったと思います。これからも万が一に備え、被害を最小限に抑えられるよう日頃から強い防火意識を持ち続けましょう。



市民公開講座を開催しました

今年で4回目となる市民公開講座を9月23日(日)しまなみ交流館で開催しました。今回は「知っておきたい最新がん治療のお話」をテーマに、当院の医師が、内視鏡的切除術や化学療法、放射線療法、ホルモン療法等について分かりやすく説明しました。

また、出張健診やがん相談、禁煙相談、お薬相談の各相談コーナー、尾道市の健診を紹介する特設コーナーも開設し、250人の方の参加がありました。

講演内容は次のとおりです。

- ①「大腸がんのお話」
外科診療科長 宇田 征史
- ②「前立線がんのお話」
泌尿器科診療科長 大枝 忠史
- ③「肝臓がんのお話」
副院長 中井 肇
- ④「尾道市の健診について」
尾道市健康推進課 保健師 村上 さつき



第1回「病院まつり」開催のお知らせ

日時 平成24年11月10日 午前10時～午後3時

場所 尾道市立市民病院 1階 ほか

主なプログラム

●オープニングイベント

高須小学校夢キラ合唱部
尾道中学校
高等学校吹奏楽部

●大野靖之コンサート

●お食事コーナー

プチ喫茶・焼きそば・ぜんざい・低カロリー焼き菓子など

●健診コーナー

(事前申込要 10/26 締切)
先着 50人



●体験コーナー

人生体験／血管ランド／体のふしぎクイズ／未来の看護師に挑戦！／はしご車・救急車・低床バスの試乗／目指せ手洗いマスター／いのちを支えるスープ試食／アロマセラピー・ハンドマッサージ／ベッド・マットレスの寝心地体験／高校生医療体験／人工呼吸器・透析器体験／MRI 撮像体験／3D 画像体験 など

●キッズコーナー

模擬手術／ヨーヨー釣り／キッズニア IN 尾道～君は未来のスーパー Dr だ／人形すくい／缶バッチづくり／エア風船／わたがし

科目診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで
 休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

区分	科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
午前	内科	1 診	山脇 泰秀 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	藤野 寿幸 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	宮田 明 内科全般	
		2 診	藤野 寿幸 内分泌・代謝	水戸川 剛秀 内科全般	開原 正展 腎・高血圧	水戸川 剛秀 内科全般	藤野 寿幸 内科全般	
		3 診	城戸 雄一 糖尿病	開原 正展 腎・高血圧	小野田 哲也 腎臓内科	小野田 哲也 腎臓内科	桶作 崇智 内科全般	
		4 診				城戸 雄一 糖尿病		
		5 診				藤野 寿幸 糖尿病	山脇 泰秀 パーキンソン病	
	総合診療科	1 診	天田 雅文	宮田 明 橋本 洋夫 リウマチ・膠原病	桶作 崇智 巻幡 清	岩室 雅也	布上 朋和	
		2 診						
	呼吸器内科	1 診	村上 斗司	村上 斗司	検査	村上 斗司	村上 斗司	火曜日 午後診療あり(巻幡 清)
	消化器内科	診察	岩室 雅也	平岡 佐規子	河合 良成	河合 良成	河合 良成	
	循環器内科	診察	小林 博夫	圓光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	
	神経内科	診察		岡本 美由紀	松山 善次郎 物忘れ外来		逸見 祥司	予約診療
	外科	1 診	中井 肇 肝、胆、膵、消化器	宇田 征史 消化器、鏡視下	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝、胆、膵、消化器	村田 年弘 外科全般	
		2 診	藤井 淳一 松本 朝子 外科全般	上塚 大 消化器、ヘルニア	上塚 大 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺、食道	
	小児外科	1 診			青山 興司			第2・第4水曜日(予約診療)
	整形外科	1 診	廣岡孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡孝彦(予約)	
		2 診	藤井 淳一	真鍋 博規	高田 直樹	高田 直樹	田中 千晴	
		3 診	田中 千晴	装 真	真鍋 博規	真鍋 博規	装 真	※1 河合(第1・3週) 藤井(第2・4週)
		4 診		河合 亮			河合/藤井※1	
	形成外科	1 診					高田 温行	
	小児科	1 診	中村 さやか	中村 さやか	中村 さやか	中村 さやか	中村 さやか	
脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂		
	2 診	岡 哲生		岡 哲生		岩戸 英仁		
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	佐藤 麻夕子 大村 裕一※2	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	※2 9:30 より診療	
皮膚科	診察	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋		
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	堀川 雄平	野崎 邦浩	野崎 邦浩	大枝 忠史		
	2 診	野崎 邦浩	大枝 忠史	野崎 堀川	大枝 忠史	堀川 雄平		
耳鼻いんこう科	診療あり		診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	広島大学病院から	
眼科	診察	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	手術	諫見 久恵		
放射線科	画像診断	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久		
	治療		勝井邦彰(予約)					
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘		
午後	内科	検診	検診	検診	検診	検診		
	循環器内科	禁煙外来(上田)		フットケア外来(藤野)※3			※3 第2・第4水曜日	
	循環器内科検査	心カテ	ペースメーカー外来	心カテ	経食工コー	心カテ	第1・第2火曜日14:00より 13:00~17:00	
	血管診療センター		検査・診察		検査			
	外科	手術	検査	手術	検査	手術	第2・第4日曜日	
	乳腺外科	乳房外来 (松岡/本後)※4				乳腺外来 (増村)	※4 松岡(第2.4週) 本後(第1.3.5週)	
	消化器内科				肝臓専門外来 (中井/河合良成)			
	整形外科	手術	手術	手術	手術	手術	木浪(第2・第4日曜日) 野田(第2・第4金曜日)	
	小児科	検査	乳児検診 栄養指導	予防接種	慢性疾患外来 神経外来(林)※5	慢性疾患外来 循環器外来(脇)※6	※5 第1木曜日 ※6 第4金曜日(偶数月)	
	脳神経外科	検査	手術	検査	手術	検査	14:00より診療	
	産婦人科		母乳外来 1ヶ月検診 手術	母乳学級 (第2.3.4週)	母乳外来 1週間検診 手術	1週間検診		
	皮膚科	検査	手術	手術	検査	検査		
	泌尿器科	手術	手術	検査	手術	検査・予約外来		
	耳鼻いんこう科		睡眠時無呼吸外来(福入)					
眼科	検査	黄斑外来(諫見)※7	検査	検査	検査	※7 14:30より予約診療		
歯科・歯科口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約診療		
放射線科	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断 治療(勝井)	予約診療		
専門外来	禁煙外来 乳房外来 頭痛外来 ストーマ外来 (第2.4週)	ペースメーカー外来 (第1.2週) 睡眠時無呼吸外来 黄斑外来	物忘れ外来 脳ドック外来 フットケア外来 (第2.4週)	肝臓専門外来 小児神経外来 (第1週)	乳腺外来 小児循環器外来 (偶数月/第4週)	予約診療		

案内図

